

自分たちで稲を育て、収穫したお米を使った おにぎり・おせんべい作り

いすみ市立長者小学校
令和5年11月8日・家庭科室



小学校敷地内の学習田で、5月の田植えから、環境に配慮した有機農業による米作りに挑戦し、9月に収穫を迎えました。収穫後、天日干し、足踏み脱穀、唐箕による選別、粳摺り、精米も自分たちで行い、11月に自分たちで作ったお米を使い、おにぎりとおせんべい作りに挑戦しました。家庭科の学習と合わせ、鍋を使って炊飯をし、炊きあがったご飯でおにぎりを作って試食をしました。児童から、炊きあがったご飯を見て、「おいしそう!」「いいにおい」という声がたくさんあがりました。おにぎりは、塩のみで味を付け、お米のおいしさを味わうことができました。自分たちで栽培、収穫したお米を自分でとぎ、炊くということを通して、これまで以上に食に対する意識を高めることができました。

その後、冷ましたご飯を使っておせんべい作りをしました。焼きあがったおせんべいに醤油や塩で味を付け、焼き立てのおせんべいを食べることができました。おにぎりとはまたちがった、お米のおいしさを味わうことができました。